

令和7年司法試験

受験願書の記入要領

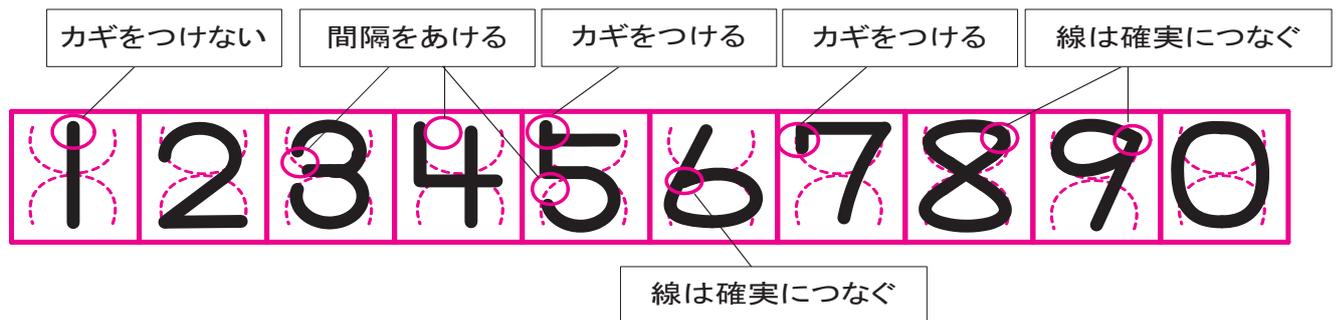
司法試験委員会

※ 受験願書は電子計算機で処理します。記入に当たっては、この記入要領、受験案内、記入例をよく読み、正しく記入してください。“不備願書”は出願期間内に補正を完了する必要があります。なお、記入内容に誤りがあった場合、司法試験法第10条に規定する不正受験とみなされ、合格の取消し等の処分を受けることがありますので十分に注意して記入してください。

注意事項

- 受験願書は、この記入要領で特に指定のない場合は、令和7年4月1日（記入基準日）現在の状況を記入してください。
- 令和7年3月に法科大学院課程を修了し、同課程修了の受験資格に基づいて受験する場合は、当該法科大学院課程の修了状況（修了見込みを含む。）を必ず確認の上、出願期間内に出願するようにしてください。
- 受験願書は、司法試験委員会が交付する令和7年司法試験の受験願書以外は使用できません。
- 受験願書は、**黒インクのボールペン（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）**を使い、各項目欄に漏れなく、**楷書で正確かつ丁寧に**記入してください。正確かつ丁寧に記入していない場合、電子計算機で正しく読み取れず、誤った情報が入力されることがあります。
- 各項目欄は左詰めで記入してください。
- 記入した事項（**数字記入欄を含む。**）を訂正する場合には、誤った事項を二重線「=」で抹消し、その上又は横に書き直してください（**修正液や修正テープ等は使用しないでください。訂正の文字は各項目欄の枠からはみ出ても差し支えありません。**）。訂正印を押す必要はありません。数字は下記の記入例を参考に算用数字で、年は和暦により記入してください。

【記入例】



目	次
①氏名 ②旧氏名 ③通称・旧姓…………… 1	⑫希望試験地 ⑬受験特別措置の希望 ⑭選択科目…………… 15
④本籍地又は国籍…………… 2	⑮写真貼付欄 ⑯郵便物送付先住所欄 ⑰連絡先欄…………… 17
⑤生年月日 ⑥性別 ⑦住民票コード…………… 3	収入印紙貼付欄 受験願書記入例…………… 18
⑧職種コード…………… 4	
⑨受験者ID ⑩司法試験受験回数…………… 5	
⑪受験資格等…………… 7	

①氏名 ②旧氏名 ③通称・旧姓

<p>① 氏名</p>	<p>次のとおり、氏名を記入してください。 上欄には、氏名の読みをカタカナで記入します。濁点・半濁点は1字としてください。 下欄には、漢字氏名を記入します。漢字氏名は楷書で、戸籍等に基づいて正確に記入してください。なお、平仮名等を含む場合は、濁音・半濁音の文字は1字として1マスに記入してください。 ※ 受験者への通知、官報公告等においては、JIS（日本産業規格）第2水準までの漢字を使用し、それ以外の文字（いわゆる外字等）については、JIS第2水準までの漢字に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。 【記入例】 氏名 司法みずき（シホウミズキ）の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(姓)</small></td> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(名)</small></td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>カタカナ</small></td> <td>シ</td><td>ホ</td><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>①氏名</small></td> <td>司</td><td>法</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>											<small>カタカナ</small>	シ	ホ	ウ																		<small>①氏名</small>	司	法																																							
<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>																																																																											
<small>カタカナ</small>	シ	ホ	ウ																																																																									
<small>①氏名</small>	司	法																																																																										
<p>② 旧氏名 (該当者のみ)</p>	<p>次に該当する場合、旧氏名及び氏名変更年月（和暦）を記入します（「受験案内」（2ページ）参照）。 氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。 ア 過去に司法試験、旧司法試験第二次試験又は司法試験予備試験に出願した方で、最後の出願時の氏名と令和7年4月1日（記入基準日）現在の氏名が異なる場合 イ 法科大学院課程修了の受験資格又は法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方で、法科大学院において使用していた（している）氏名と令和7年4月1日（記入基準日）現在の氏名が異なる場合 ※ 「出願した方」とは、出願はしたが受験しなかった方も含みます。 ※ 最後の出願以降に、令和7年4月1日（記入基準日）現在の氏名への変更届を提出している場合は不要です。 【記入例】 令和6年司法試験に出願した方が、令和6年12月に戸籍上の氏名「法務みずき（旧氏名）」を「司法みずき（現氏名）」に変更した場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(姓)</small></td> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(名)</small></td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>カタカナ</small></td> <td>ホ</td><td>ウ</td><td>ム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>②旧氏名</small></td> <td>法</td><td>務</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">(氏名変更年月 平成・令和 6年 12月)</p>	<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>											<small>カタカナ</small>	ホ	ウ	ム																		<small>②旧氏名</small>	法	務																																							
<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>																																																																											
<small>カタカナ</small>	ホ	ウ	ム																																																																									
<small>②旧氏名</small>	法	務																																																																										
<p>③ 通称・旧姓 (該当者のみ)</p>	<p>次に該当する場合は、使用を希望する通称又は旧姓（戸籍上の旧氏名）を記入します（「受験案内」（2ページ）参照）。 ア 日本国籍を有しない方で、通称による受験を希望する場合 イ 旧姓（戸籍上の旧氏名）による受験を希望する場合（氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。） ※ 通称又は旧姓による受験を希望した場合は、受験者への通知（受験資格確認通知書を除く。）、官報公告等における氏名は通称又は旧姓となりますが、合格証書については戸籍等に基づく氏名が記載されます。 【記入例】 戸籍上の氏名は司法みずきであるが、法務みずき（旧姓）による受験を希望する場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(姓)</small></td> <td style="text-align: center; width: 10%;"><small>(名)</small></td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>カタカナ</small></td> <td>ホ</td><td>ウ</td><td>ム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><small>③通称・旧姓</small></td> <td>法</td><td>務</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>											<small>カタカナ</small>	ホ	ウ	ム																		<small>③通称・旧姓</small>	法	務																																							
<small>(姓)</small>	<small>(名)</small>																																																																											
<small>カタカナ</small>	ホ	ウ	ム																																																																									
<small>③通称・旧姓</small>	法	務																																																																										

④本籍地又は国籍

<p>④ 本籍地又は国籍</p>	<p>本籍地又は国籍を下の【本籍地・国籍コード表】から選択し、該当するコード及び都道府県名等を記入します。</p> <p>なお、日本国籍を有しない方は、コード欄に「53」を記入し、「本籍地又は国籍名」欄に国籍名を記入します。</p> <p>【記入例1】 本籍地が「神奈川県」の場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">④本籍地又は国籍</td> <td style="text-align: center;">コード</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">14</td> <td style="text-align: center;">本籍地又は国籍名</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.5em;">神奈川県</td> </tr> </table> <p>【記入例2】 国籍が「大韓民国」の場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">④本籍地又は国籍</td> <td style="text-align: center;">コード</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">53</td> <td style="text-align: center;">本籍地又は国籍名</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.5em;">大韓民国</td> </tr> </table>	④本籍地又は国籍	コード	14	本籍地又は国籍名	神奈川県	④本籍地又は国籍	コード	53	本籍地又は国籍名	大韓民国
④本籍地又は国籍	コード	14	本籍地又は国籍名	神奈川県							
④本籍地又は国籍	コード	53	本籍地又は国籍名	大韓民国							

本籍地・国籍コード表

本籍地・国籍	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

本籍地・国籍	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
日本国籍以外	53

⑤生年月日 ⑥性別

⑤ 生年月日 ⑥ 性別	次のとおり、生年月日・性別に関する事項を記入します。 ア 【生年月日】欄 生年月日を和暦で記入します。 「元号」欄には、元号を下の【元号コード表】から選択して、該当するコードを記入し、「年」「月」「日」欄にはそれぞれ該当する算用数字（記入数字が1桁の場合は先頭に「0」を付与）を記入します。 イ 【性別】欄 性別を下の【性別コード表】から選択し、該当するコードを記入します。 【記入例】 平成7年10月1日生の男性の場合 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">元号</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">年</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">月</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">日</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">コード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑤生年月日</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: center;">07</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">01</td> <td style="text-align: center;">⑥性別</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>		元号	年	月	日		コード	⑤生年月日	H	07	10	01	⑥性別	1
	元号	年	月	日		コード									
⑤生年月日	H	07	10	01	⑥性別	1									

元号コード表

元号	コード
大正	T
昭和	S
平成	H
令和	R

性別コード表

性別	コード
男性	1
女性	2

⑦住民票コード

⑦ 住民票コード	各市区町村から配付された住民票コード（11桁）を記入してください。 住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）による確認を行いますので、住民票の提出は不要です。 ※ 不正確な住民票コードでは住基ネットによる確認を行えませんので、住民票コードをよく確認してから記入してください。 （住民票コードが不明な場合） 住民票コードの提供に時間が掛かる場合もありますので、確認方法については、お住まいの市区町村に早めに問い合わせてください。 【記入例】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">⑦住民票 コード</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">8</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> </tr> </table>	⑦住民票 コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
⑦住民票 コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1		

⑧ 職種コード

<p>⑧ 職種コード</p>	<p>職種を下の【職種コード表】から選択し、該当するコードを記入します。 なお、令和7年4月2日から同年4月30日までの間に、入学や就職等により、記入基準日（令和7年4月1日）時点とは異なる職種に変更される予定がある場合には、変更後の職種のコードを選択してください。</p> <p>【記入例1】 令和7年3月に法科大学院の課程を修了し、同年4月1日（記入基準日）現在、会社員である場合</p> <div style="border: 2px solid magenta; padding: 5px; display: inline-block;"> ⑧職種 コード 0 3 </div> <p>【記入例2】 令和7年3月に大学を卒業し、同年4月2日から同月30日までの間に法科大学院生となる予定である場合 ※ この場合「⑩受験資格等」の最終学歴コードについては、法科大学院生のコードを選択し、法科大学院に関する事項として、入学予定の法科大学院に関する事項を記入することになります。</p> <div style="border: 2px solid magenta; padding: 5px; display: inline-block;"> ⑧職種 コード 0 7 </div>
----------------	---

職種コード表

職 種	コード
公務員（教職員を除く。）	01
教職員（公立・私立を問わない。）	02
会社員（役員を含む。）	03
法律事務所事務員	04
塾教師（家庭教師はコード10（その他））	05
自営業（農林漁業を含む。）	06
法科大学院生	07
大学院生（法科大学院生を除く。）	08
大学生	09
その他（独立行政法人職員等を含む。）	10
無職（アルバイトを含む。）	11

⑨受験者ID ⑩司法試験受験回数

<p>⑨ 受験者ID</p>	<p>「受験資格確認通知書」（過去の司法試験の受験票とともに送付）又は平成20年以降の司法試験成績通知書に記載されている受験者ID（11桁）を記入してください。</p> <p>旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者IDを取得している方又は前回司法試験に出願したときと異なる受験資格で出願する方についても、取得している受験者IDを記入してください。</p> <p>※ <u>前回司法試験に出願したものの受験しなかった場合</u>も、取得している受験者IDを記入してください。</p> <p>※ 司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方（「⑩受験資格等コード」欄に「2」又は「5」と記入した方）は、司法試験予備試験において取得した受験者IDを必ず記入してください。なお、受験者IDが不明な場合は、司法試験委員会に確認してください。</p> <p>※ <u>過去に司法試験、旧司法試験又は司法試験予備試験のいずれも出願したことがない場合は記入不要です</u>。</p> <p>【記入例】 受験者IDが「12345678901」の場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">⑨受験者ID</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">7</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">8</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">9</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">0</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">1</td> </tr> </table>	⑨受験者ID	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1																
⑨受験者ID	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1																		
<p>⑩ 司法試験受験回数</p>	<p>ア 【司法試験受験回数】欄 今回の出願に係る受験資格に基づき、司法試験を受験した回数（0、1、2、3又は4）を記入してください。例えば、受験したことがない場合には「0」を記入します。</p> <p>なお、以前、<u>司法試験を法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験</u>した方が法科大学院課程を修了し、<u>今回法科大学院課程修了の資格に基づいて出願</u>する場合（司法試験法（以下「法」という。）第4条の定める受験期間内である場合）、<u>法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した回数も記入</u>してください（記入例4（6ページ）参照）。</p> <p style="color: red; text-align: center;">※ 今回（令和7年司法試験）及び旧司法試験の受験回数は含みません。また、出願はしたものの受験していない場合は、カウントしません。</p> <p>イ 【受験年】欄 上記アに記入した試験を受験した年の欄に「1」を記入してください。なお、受験していない年の欄は、記入不要です。</p> <p>【記入例1】 司法試験を受験したことがない場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">⑩司法試験 受験回数</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">回数</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">受験年</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R3</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R4</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R5</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R6</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">0</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p style="color: red; margin-left: 100px;">← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。</p> <p>【記入例2】 法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で、令和4年司法試験と令和5年司法試験を受験した場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">⑩司法試験 受験回数</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">回数</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">受験年</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R3</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R4</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R5</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px;">R6</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">2</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">1</td> <td style="border: 1px solid black;">1</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p style="color: red; margin-left: 100px;">← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。</p>	⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R3	R4	R5	R6		0						⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R3	R4	R5	R6		2			1	1	
⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R3	R4	R5	R6																							
	0																												
⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R3	R4	R5	R6																							
	2			1	1																								

【記入例3】

平成28年3月に法科大学院課程を修了し（1回目の受験資格取得）、司法試験を受験。更に令和7年2月に司法試験予備試験に合格し（2回目の受験資格取得）、同試験合格の受験資格に基づいて出願する場合

	回数		R3	R4	R5	R6
⑩司法試験 受験回数	0	受験年				

← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

【記入例4】

法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で、令和6年司法試験を法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した場合（出願したものの受験しなかった場合を除く。）

	回数		R3	R4	R5	R6
⑩司法試験 受験回数	1	受験年				1

← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

※ 以前、法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した方が、法科大学院課程を修了し、法科大学院課程修了の資格に基づいて出願する場合（法第4条の定める受験期間内）には、法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した回数及び受験年も必ず記入願います。

⑪ 受験資格等

受験資格

次のとおり、受験資格等に関する事項を記入します。

ア 「コード」欄には、今回の出願に係る受験資格を下の【受験資格コード表】から選択し、該当するコードを記入します。

なお、複数の受験資格を取得している方は以下の点に御留意ください。

(ア) 法科大学院課程在学中の受験資格（見込みを含む。）と法科大学院課程修了の受験資格の両方を取得している場合

「1」、「3」又は「4」のいずれの受験資格に基づき出願するかを選択して記入します。

(イ) 法科大学院課程在学中の受験資格（見込みを含む。）と司法試験予備試験合格の受験資格の両方の受験資格を取得している場合

「2」、「3」又は「5」のいずれの受験資格に基づき出願するかを選択して記入します。

ただし、過去に司法試験を受験した方は、その受験に係る受験資格について、**法第4条に定める期間を経過しない場合は、他の受験資格で受験することはできません。**

イ 「元号」「年」「月」欄には、今回の出願に係る受験資格を取得した年月を和暦で記入します。

なお、以下に該当する方は記入の際に御留意ください。

(ア) 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

法第4条に定める受験期間の始期の年月（令和7年司法試験が同資格で受験する最初の司法試験である場合は「令和7年4月」）を記入します。

(イ) 今回法科大学院課程修了の資格で出願する方で、前回、法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した場合

法科大学院課程修了の資格を取得した年月を記入します。

(ウ) 「コード」欄に「4」又は「5」を記入した場合

法科大学院課程在学中の受験資格に係る**法第4条に定める受験期間の始期の年月（令和7年司法試験が同資格で受験する最初の司法試験である場合は「令和7年4月」）**を記入します。

受験資格コード表

受験資格（必ず本表及び受験案内3ページを確認し、十分検討の上選択してください。）	コード
法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する場合 （法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した方が、法科大学院課程を修了し、今回、同資格に基づいて出願する場合を含む。）	1
司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合	2
法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合 ※ 欄外（注）にも御留意ください。	3
法科大学院課程修了の受験資格を取得し、かつ、今回出願する司法試験につき法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みの方（既に取得している方を含む。）で、法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは、法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験することを希望する場合 ※ 法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験したことがある方は、同受験資格に係る受験期間内は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験することはできません。 ※ 法科大学院課程在学中の資格で受験する場合は、欄外（注）にも御留意ください。	4
司法試験予備試験合格の受験資格を取得し、かつ、今回出願する司法試験につき法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みの方（既に取得している方を含む。）であって、法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは、司法試験予備試験合格の受験資格に基づき受験することを希望する場合 ※ 司法試験予備試験合格の受験資格で受験したことがある方は、同受験資格に係る受験期間内は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験することはできません。 ※ 法科大学院課程在学中の資格で受験する場合は、欄外（注）にも御留意ください。	5

（注） 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき司法試験を受けて合格した方は、司法修習生の採用要件として、その合格発表の日の属する年の4月1日以降に法科大学院課程を修了したことが必要です（裁判所法第66条第1項）。

最終学歴

【最終学歴コード】欄

下の【最終学歴コード表】から該当するコードを記入します。

最終学歴コードについては、法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「1」）及び法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「3」、「4」又は「5」）は、必ず当該受験資格に係る法科大学院に関するコードを選択してください。また、司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方のうち、記入基準日（令和7年4月1日）に法科大学院課程に在学中の方（法科大学院課程修了者を含む。）についても、当該法科大学院に関するコードを選択してください。

なお、最終学歴コードのうち「21」から「26」のコードを選択した方は、下記の「法科大学院に関する事項の記入方法」を参照し、それ以外のコードを選択した方は、次頁の「法科大学院以外の事項の記入方法」を参照して、それぞれ最終学歴に関する事項を記入してください。

最終学歴コード

最終学歴	コード	最終学歴	コード	最終学歴	コード
大学卒業	11	法科大学院修了	21	短期大学卒業	41
大学生（4年以上）	12	法科大学院生（4年次以上）	22	短期大学在学	42
大学生（3年）	13	法科大学院生（3年次）	23	短期大学中退	43
大学生（2年）	14	法科大学院生（2年次）	24	高等学校卒業	51
大学生（1年）	15	法科大学院生（1年次）	25	高等学校在学	52
大学中退	16	法科大学院中退	26	高等学校中退	53
		法科大学院以外の大学院修了	31	その他（専修学校、大学校等）	61
		法科大学院以外の大学院在学	32		
		法科大学院以外の大学院中退	33		

※法科大学院生の年次について

1年次：未修者コース1年目

2年次：未修者コース2年目又は既修者コース1年目

3年次：未修者コース3年目又は既修者コース2年目

4年次以上：未修者コース4年目以上又は既修者コース3年目以上

法科大学院に関する事項の記入方法

○ 法科大学院に関する事項の記入方法

次のとおり、法科大学院に関する事項を記入します。

ア 「法科大学院」欄の上欄に、法科大学院課程の修了年月（修了見込者は修了見込年月）を和暦で記入し、法科大学院名を記入するとともに、修了・中退・修了見込の別及び既修者・未修者コースの別並びに法曹・非法曹コースの別をそれぞれ○で囲みます。

なお、ここで、法曹コースを○で囲むのは、法曹コースを修了し、早期卒業等により学部3年次を終えた時点で法科大学院に進学した場合のみです。法曹コースを修了し、学部4年次以上で卒業して法科大学院に進学した場合は、非法曹コースを○で囲んでください。

また、非法学部系（法学部系学部以外）の学部を卒業して法科大学院に進学した方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

法曹・非法曹コースの別については、14ページの【既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等コード表】の説明を参照してください。

イ 【法科大学院コード】欄

13ページの【法科大学院コード表】から該当するコードを選択し、記入します。

ウ 【既修・未修等】欄

14ページの【既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等コード表】から該当するコードを選択し、記入します。

エ 受験資格の確認

法科大学院課程を修了した方及び法科大学院課程に在学中の方については、司法試験委員会から法科大学院に対して、受験資格の有無に関する事項を照会して確認しますので、同照会に同意される場合は、「同意」欄に「1」を記入します。

次に、「学籍番号」欄に学籍番号（法科大学院課程修了時のもの（修了見込の場合は記入基準日（令和7年4月1日）のもの））を左詰めで記入します。学籍番号にアルファベットが含まれている場合は大文字で記入し、「-」（ハイフン）が含まれている場合はハイフンも記入してください。ただし、枠内に入りきらない場合はハイフンを除いて記入してください。アルファベットと数字が混在している場合は、いずれであるか判別できるように特に丁寧に記入してください。正

確に記入していないと、法科大学院への照会ができない場合があります。

また、法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方については、⑨受験者 ID を記入し、かつ、前回司法試験に出願したときの受験資格に係る受験期間(法第4条で定める期間)内の場合、「同意」及び「学籍番号」の記入は不要です。

なお、以前法科大学院課程在学中の受験資格で受験した方が、法科大学院課程を修了し、今回法科大学院課程修了の資格に基づいて出願する場合にも、改めて法科大学院に対して資格の有無に関する事項を照会しますので、「同意」及び「学籍番号」を記入してください。

※ 受験資格コードで「4」を選択した方については、法科大学院課程在学中の受験資格に関する事項を「法科大学院」欄に、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を「法科大学院以外」欄にそれぞれ記入してください。

法科大学院以外の事項の記入方法

○ 法科大学院以外の事項の記入方法

司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方で、「最終学歴コード」のうち「21」から「26」までのコード以外を選択した方は、「法科大学院以外」欄に、最終的に卒業(修了)若しくは中退した又は在学している学校について、学校名を記入し、卒業・卒業見込(修了・修了見込)又は中退した年月を和暦で記入するとともに、卒業・卒業見込(修了・修了見込)又は中退の別をそれぞれ○で囲んでください。

※ 「法科大学院以外」欄の下欄(法科大学院コード等)への記入は不要です。

<受験資格等の記入例>

【記入例1-①】 法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「1」の場合)

令和7年3月に法科大学院課程(既修者コース/法学部系/非法曹コース)を修了した方で、同課程修了の受験資格に基づいて出願する場合

①受験資格等	コード	元号	年	月												
	I	R	0	7	0	3										
最終学歴	法科大学院	平成	令和	7	3	月	司法大学	法科大学院	修了	既修	法曹コース					
		○							中退	未修	非法曹コース					
		修了見込														
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号								
		1608		12		1MOJ		-1234567								
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和	卒業													
		平成	中退	修了	既修											
		令和	卒業見込	修了見込	未修											
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号								

← 非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

← 受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

【記入例1-②】 法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「1」の場合)

令和6年司法試験を「法科大学院課程在学中」の受験資格で受験した方が、令和7年3月に法科大学院課程(既修者コース/法学部系/非法曹コース)を修了し、同課程修了の受験資格に基づいて出願する場合

記入例1-①と同じ

【記入例2-①】 司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方(法科大学院生以外)(受験資格コード「2」の場合)

令和7年3月に大学を卒業した方(記入基準日現在:法科大学院生以外)で、令和6年司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合

①受験資格等		コード	元号	年	月																
		2	R	0	7	0	2														
最終学歴	法科大学院	平成	令和	年	月	司法大学	法科大学院	修了	既修	法曹コース											
								中退	未修	非法曹コース											
						修了見込															
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号													
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和		平成		令和		卒業	中退	修了	既修										
1	1					令和7年3月		卒業見込	修了見込	未修											
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号													

非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

【記入例2-②】 司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方(法科大学院生)(受験資格コード「2」の場合)

令和9年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方(記入基準日現在:既修者コース1年目/法学部系/非法曹コース)で、令和6年司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合

①受験資格等		コード	元号	年	月																								
		2	R	0	7	0	2																						
最終学歴	法科大学院	平成	令和	9	3	月	司法大学	法科大学院	修了	既修	法曹コース																		
									中退	未修	非法曹コース																		
								修了見込																					
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号																					
		1608		12		1		M		O		J		-		1		2		3		4		5		6		7	
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和		平成		令和		卒業	中退	修了	既修																		
2	4							卒業見込	修了見込	未修																			
		法科大学院コード		既修・未修等		同意		学籍番号																					

非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

【記入例3-①】 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「3」の場合)

令和8年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方(記入基準日現在:既修者コース2年目/法学部系/法曹コース(早期卒業等))で、令和7年5月頃、法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであり、同大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

①受験資格等	コード	元号	年	月	
	3	R	07	0	4

法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します(令和7年司法試験においては「令和7年4月」)。

最終学歴	法科大学院	平成	令和	8年3月	司法大学	法科大学院	修了	既修	法曹コース	非法曹コース								
							中退	未修										
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号													
		1	6	0	8	1	1	M	O	J	-	1	2	3	4	5	6	7

非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

最終学歴コード	法科大学院以外	昭和	卒業															
2	3	平成	中退	修了	既修													
		令和	卒業見込	修了見込	未修													
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号													

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

【記入例3-②】 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「3」の場合)

令和6年司法試験を法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験し、その後法科大学院課程を修了せず、令和8年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方(記入基準日現在:既修者コース3年目/法学部系/非法曹コース)で、令和7年5月頃、法科大学院課程在学中の受験資格を取得見込みであり、同大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

①受験資格等	コード	元号	年	月	
	3	R	06	0	4

法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します(この事例では最初に在学中受験資格に基づいて受験したのは令和6年司法試験であるため、「令和6年4月」)。

最終学歴	法科大学院	平成	令和	8年3月	司法大学	法科大学院	修了	既修	法曹コース	非法曹コース								
							中退	未修										
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号													
		1	6	0	8	1	2	M	O	J	-	1	2	3	4	5	6	7

非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

最終学歴コード	法科大学院以外	昭和	卒業															
2	2	平成	中退	修了	既修													
		令和	卒業見込	修了見込	未修													
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号													

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

【記入例4】 法科大学院課程在学中の受験資格かつ法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「4」の場合)

令和6年3月に「法務大学法科大学院(既修者コース/法学部系/非法曹コース)」に係る法科大学院課程修了の受験資格を取得し、かつ、記入基準日現在、「司法大学法科大学院(既修者コース2年目/法学部系/非法曹コース)」に在学している方で、令和7年5月頃に司法大学に係る法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであって、司法大学法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは法務大学法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験することを希望する場合

①受験資格等	コード	元号	年	月	法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します(令和7年司法試験においては「令和7年4月」)。				
	4	R	07	04					
最終学歴	法科大学院	平成	令和8年3月	司法大学	法科大学院	修了 (既修) 中退 (未修) 修了見込 (既修)	法曹コース 非法曹コース	非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。	
		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号			
		1608121		M	O	J	-1234567		
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和	平成	令和6年3月	法務大学法科大学院	卒業 中退 (修了) 卒業見込 (既修)	修了見込 (修了) 未修 (既修)	受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。	
		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号			
		1620121		P	O	P	-3456789		

【記入例5】 法科大学院課程在学中の受験資格かつ司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方(受験資格コード「5」の場合)

令和8年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方(記入基準日現在：未修者コース4年目/法学部系/非法曹コース)で、令和6年司法試験予備試験合格の受験資格を取得し、かつ、令和7年5月頃に法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであって、同大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは司法試験予備試験合格の受験資格に基づき受験することを希望する場合

①受験資格等	コード	元号	年	月	法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します(令和7年司法試験においては「令和7年4月」)。				
	5	R	07	04					
最終学歴	法科大学院	平成	令和8年3月	司法大学	法科大学院	修了 (既修) 中退 (未修) 修了見込 (既修)	法曹コース 非法曹コース	非法学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。	
		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号			
		1608221		M	O	J	-1234567		
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和	平成	令和 年 月	法務大学法科大学院	卒業 中退 (修了) 卒業見込 (既修)	修了見込 (修了) 未修 (既修)	受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。	
		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号			

法科大学院コード表

区分	法科大学院名	コード	区分	法科大学院名	コード
1	東北学院大学大学院法務研究科	1101	3	愛知学院大学大学院法務研究科	1301
	東北大学大学院法学研究科	1102		愛知大学大学院法務研究科	1302
	北海学園大学大学院法務研究科	1103		金沢大学大学院法学研究科	1303
	北海道大学大学院法学研究科	1104		静岡大学大学院法務研究科	1304
2	青山学院大学大学院法務研究科	1201		信州大学大学院法曹法務研究科	1305
	大宮法科大学院大学法務研究科	1202		中京大学大学院法務研究科	1306
	学習院大学大学院法務研究科	1203		名古屋大学大学院法学研究科	1307
	神奈川大学大学院法務研究科	1204		南山大学大学院法務研究科	1308
	関東学院大学大学院法務研究科	1205		新潟大学大学院実務法学研究科	1309
	慶應義塾大学大学院法務研究科	1206		名城大学大学院法務研究科	1310
	國學院大學大学院法務研究科	1207		山梨学院大学大学院法務研究科	1311
	駒澤大学大学院法曹養成研究科	1208	4	大阪学院大学大学院法務研究科	1401
	上智大学大学院法学研究科	1209		大阪公立大学大学院法学研究科(大阪市立大学)	1402
	駿河台大学大学院法務研究科	1210		大阪大学大学院高等司法研究科	1403
	成蹊大学大学院法務研究科	1211		関西大学大学院法務研究科	1404
	専修大学大学院法務研究科	1212		関西学院大学大学院司法研究科	1405
	創価大学大学院法務研究科	1213		京都産業大学大学院法務研究科	1406
	大東文化大学大学院法務研究科	1214		京都大学大学院法学研究科	1407
	千葉大学大学院専門法務研究科	1215		近畿大学大学院法務研究科	1408
	中央大学大学院法務研究科	1216		甲南大学大学院法学研究科	1409
	筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院	1217		神戸学院大学大学院実務法学研究科	1410
	桐蔭横浜大学大学院法務研究科	1218		神戸大学大学院法学研究科	1411
	東海大学大学院実務法学研究科	1219		同志社大学大学院司法研究科	1412
	東京大学大学院法学政治学研究科	1220		姫路獨協大学大学院法務研究科	1413
	東京都立大学大学院法学政治学研究科(首都大学東京)	1221		立命館大学大学院法務研究科	1414
	東洋大学大学院法務研究科	1222		龍谷大学大学院法務研究科	1415
	獨協大学大学院法務研究科	1223	5	岡山大学大学院法務研究科	1501
	日本大学大学院法務研究科	1224		香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科	1502
	白鷗大学大学院法務研究科	1225		島根大学大学院法務研究科	1503
	一橋大学大学院法学研究科	1226		広島修道大学大学院法務研究科	1504
	法政大学大学院法務研究科	1227		広島大学大学院人間社会科学研究所	1505
	明治学院大学大学院法務職研究科	1228	6	鹿児島大学大学院司法政策研究科	1601
	明治大学大学院法務研究科	1229		九州大学大学院法務学府	1602
	横浜国立大学大学院国際社会科学府	1230		熊本大学大学院法曹養成研究科	1603
	立教大学大学院法務研究科	1231		久留米大学大学院法務研究科	1604
	早稲田大学大学院法学研究科法曹養成専攻	1232		西南学院大学大学院法務研究科	1605
		福岡大学大学院法曹実務研究科		1606	
		琉球大学大学院法務研究科		1607	

※ 区分ごとの五十音順になっています。

※ 令和7年4月1日現在の学科名を表記しています。旧学科を修了された方については、現行学科名を選択してください。
なお、令和7年司法試験において発行される受験資格確認通知書については、現行学科名が表記されます。

⑫希望試験地 ⑬受験特別措置の希望 ⑭選択科目

<p>⑫ 希望試験地</p>	<p>受験を希望する試験地について、16 ページの【試験地コード表】から一つ選択し、該当するコード及び試験地名を記入します。</p> <p>※ 「那覇市又はその周辺」については、<u>出願時及び試験実施時に沖縄県に現に居住している方に限ります。</u></p> <p>なお、「那覇市又はその周辺」を選択された方のうち、⑯郵便物送付先住所欄に沖縄県以外の住所を記入する場合には、<u>その理由が分かる資料（申立書等）を必ず添付してください。</u></p> <p>【記入例】 「那覇市又はその周辺」試験地での受験を希望する場合</p> <table border="1" data-bbox="507 577 1007 689"> <thead> <tr> <th></th> <th>コード</th> <th>試験地名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑫希望試験地</td> <td>108</td> <td>那覇市又はその周辺</td> </tr> </tbody> </table>		コード	試験地名	⑫希望試験地	108	那覇市又はその周辺
	コード	試験地名					
⑫希望試験地	108	那覇市又はその周辺					
<p>⑬ 受験特別措置の希望 (該当者のみ)</p>	<p>視覚障害、肢体障害、その他身体に障害等があるため受験特別措置を希望する場合は、本欄に「1」を記入します。希望しない場合は記入は不要です。</p> <p>なお、本欄に記入した場合は、「受験案内」（8 ページ）の「第7 身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置」をよく読み、司法試験身体障害者等受験特別措置申出書及び障害や傷病の程度を証明する書類等を受験願書と一緒に必ず提出してください。</p> <p>【記入例】 受験特別措置を希望する場合</p> <table border="1" data-bbox="502 1041 679 1153"> <thead> <tr> <th>⑬受験特別措置の希望</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	⑬受験特別措置の希望	コード		1		
⑬受験特別措置の希望	コード						
	1						
<p>⑭ 選択科目</p>	<p>論文式試験の選択科目のうち、受験する科目について、16 ページの【選択科目コード表】から一つ選択し、該当するコード及び選択科目名を記入します。</p> <p>なお、<u>出願後の選択科目の変更はできません。</u></p> <p>【記入例】 選択科目として「倒産法」を希望する場合</p> <table border="1" data-bbox="499 1406 1308 1518"> <thead> <tr> <th></th> <th>コード</th> <th>選 択 科 目 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑭選択科目</td> <td>101</td> <td>倒産法</td> </tr> </tbody> </table>		コード	選 択 科 目 名	⑭選択科目	101	倒産法
	コード	選 択 科 目 名					
⑭選択科目	101	倒産法					

試験地コード表

試験地	コード
東京都	101
大阪市	102
名古屋市	103
福岡市	104
仙台市	105
札幌市	106
広島市	107
那覇市又はその周辺	108

選択科目コード表

選択科目	コード
倒産法	101
租税法	102
経済法	103
知的財産法	104
労働法	105
環境法	106
国際関係法（公法系）	107
国際関係法（私法系）	108

⑮写真貼付欄 ⑯郵便物送付先住所欄 ⑰連絡先欄

<p>⑮ 写真貼付欄</p>	<p>「受験案内」(1ページ)の「3 提出書類」に従い、写真を貼り付け、撮影年月を記入します。 写真の裏面に氏名及び生年月日を記入の上、全面をのり付けし、しっかり貼り付けてください。 ※ 写真は出願前6月以内に撮影されたカラー写真とし、機械で読み取りますので、不鮮明なものや受験案内(1ページ)記載の写真の規格に適合しないものなど、受験写真として不適当なものは差替えをお願いすることがあります。</p>																																				
<p>⑯ 郵便物送付先住所欄</p>	<p>司法試験委員会から送付する郵便物の送付先住所を記入します。なお、受験票等の郵便物は全て令和7年6月以降に送付します。住民登録をしている現住所でなくても構いません。ただし、日本国内の住所に限ります。 ※ 本欄は機械で画像を読み取り、郵便物の送付先としてそのまま使用しますので、楷書で、濃く丁寧に記入してください。また、アパート名、室番号、同居先まで正確に記入してください。 なお、「③ 通称・旧姓」欄に記入した氏名がある場合は、本欄で同じ氏名を使用することができます。</p> <p>【記入例】 郵便物送付先の宛て名に旧姓(法務みずき)の使用を希望する場合</p> <p>⑯郵便物送付先住所欄</p> <table border="1" data-bbox="486 891 992 1281"> <tr> <td>郵便番号</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td colspan="8">東京都千代田区霞が関1-1-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="8">司法アパート 101号室</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="8">法務 みずき 様</td> </tr> </table>	郵便番号	1	0	0	-	8	9	7	7	住所	東京都千代田区霞が関1-1-1									司法アパート 101号室								氏名	法務 みずき 様							
郵便番号	1	0	0	-	8	9	7	7																													
住所	東京都千代田区霞が関1-1-1																																				
	司法アパート 101号室																																				
氏名	法務 みずき 様																																				
<p>⑰ 連絡先欄</p>	<p>司法試験委員会から問い合わせの際に使用しますので、正確に記入してください。 「電話番号1」欄には、確実に連絡が取れる電話番号について、該当する項目を○で囲み、電話番号を記入してください。 「電話番号2」欄には、電話番号1以外で確実に連絡が取れる電話番号について、該当する項目を○で囲み、電話番号を記入してください。 「E-mail」欄には、E-mailのメールアドレスを記入してください。携帯電話のメールアドレスも可。なお、E-mail等のメールアドレスがない場合は、記入は不要です。</p> <p>【記入例】</p> <p>⑰連絡先欄</p> <table border="1" data-bbox="486 1646 957 1877"> <tr> <td>電話番号1</td> <td> <input checked="" type="radio"/> 携帯・勤務先・帰省先・その他・なし (090) 1234 - 5678 </td> </tr> <tr> <td>電話番号2 (上記以外)</td> <td> <input type="radio"/> 携帯・勤務先 <input checked="" type="radio"/> 帰省先 <input type="radio"/> その他・なし (03) 3580 - 4111 </td> </tr> <tr> <td>E-mail</td> <td>abc@defghi.co.jp</td> </tr> </table> <p>※電話番号については、確実に連絡が取れる番号を記載してください。 また、「03-3580-4111」は司法試験委員会(法務省代表)の電話番号ですので、つながるようにしてください。</p>	電話番号1	<input checked="" type="radio"/> 携帯・勤務先・帰省先・その他・なし (090) 1234 - 5678	電話番号2 (上記以外)	<input type="radio"/> 携帯・勤務先 <input checked="" type="radio"/> 帰省先 <input type="radio"/> その他・なし (03) 3580 - 4111	E-mail	abc@defghi.co.jp																														
電話番号1	<input checked="" type="radio"/> 携帯・勤務先・帰省先・その他・なし (090) 1234 - 5678																																				
電話番号2 (上記以外)	<input type="radio"/> 携帯・勤務先 <input checked="" type="radio"/> 帰省先 <input type="radio"/> その他・なし (03) 3580 - 4111																																				
E-mail	abc@defghi.co.jp																																				

収入印紙貼付欄

収入印紙貼付欄 「受験案内」(1ページ)の「**3 提出書類**」をよく読み、受験手数料として**28,000円分の収入印紙**(現金・郵便切手・都道府県発行の収入証紙等は不可)を枠内に貼り付けます。
 収入印紙の枚数は**4枚以内**とし、貼り付けるときは、剥がれないようにしっかりとのり付けして、点線枠からはみ出さないように注意してください。
 金額は過不足のないように注意してください(金額が超過する場合も受理できません)。また、消印はしないでください。

【受験願書記入例】

令和8年3月に法科大学院課程(既修者コース/法学部系/法曹コース(早期卒業等))を修了する見込みの者で、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

令和7年 司法試験受験願書

私は、司法試験法第4条に規定する受験資格を有しております。
 また、この受験願書の記載事項は事実と相違ありません。

①氏名	(姓) カタカナ シ ホウ	(名) ミ ス キ
②旧氏名	(姓) カタカナ ホ ウ ム	(名) ミ ス キ
③通称・旧姓	(姓) カタカナ ホ ウ ム	(名) ミ ス キ
④本籍地又は国籍	コード 14 本籍地又は国籍名 神奈川県	⑤住民票コード 12345678901
⑥生年月日	平成 年 月 日 H I 2 1 0 1 6 性別 男 2	⑦受験者ID
⑧受験資格	3 R 0 7 0 4	⑨司法試験受験回数 0 受検年 R3 R4 R5 R6
最終学歴	法科大学院 平成 8年3月 司法大学 法科大学院 修了 既修 法曹コース	⑩学歴コード 1608111MOJ-1234567
在学中の学歴	昭和 平成 令和 卒業見込 修了 既修	⑪受験資格コード欄に「1」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。
⑫出願試験種別	101 東京都	⑬受験特別措置の希望 1
⑭写真貼付欄	⑮郵便物送付先住所欄	⑯連絡先欄

写真貼付欄

写 真
 パスポート申請用写真
 と同一規格
 (縦45mm×横35mm)

注 意

1. 出願者本人のみ
2. 6月以内に撮影したもの
3. 正面、無帽、無背景、カラー
4. 両面から順までが3/4mm程度
5. 貼付した写真は試験当日の本人確認に使用されます。

撮影年月 令和 年 月

郵便物送付先住所欄

郵便番号 100-8977

住所 東京都千代田区千代田霞ヶ関1-1-1
 司法アパート 101号室

氏名 司法 みずき 様

連絡先欄

電話番号1 (選呼)・勤務先・帰省先・その他・なし
 (090) 1234 - 5678

電話番号2 (選呼)・勤務先・帰省先・その他・なし
 (03) 3580 - 4111

E-mail abc@defghi.co.jp

※電話番号については、確実に連絡が取れる番号を記載してください。
 また、「03-3580-4111」は司法試験委員会(法務省代表)の電話番号ですので、つながらないようにしてください。

収入印紙貼付欄

28,000円分の収入印紙を**4枚以内**で、点線枠内に貼り付けてください。
 過不足のないようにしてください。
 消印はしないでください。

※ 以下の事務処理欄には何も記入しないでください。

※事務処理欄

写真貼付確認 受験資格確認

受験手数料確認 受験特別措置確認

住民票確認

氏名漢字変更確認

受付不備取込